

函館北ロータリークラブ会報

2014~15年度 国際ロータリー テーマ

ロータリーに輝きを

2014~15年度 国際ロータリー会長 ゲイリーC.K. ホアン

石橋輝夫 会長 テーマ “ゆっくりと、ほどほどに”

★会長 石橋輝夫 ★幹事 斎藤秀司



- ・例会場：ロワジールホテル函館 〒040-0063 函館市若松町14-10 TEL22-0111
- ・例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

《第2450回例会》第16号 11月5日(水)

本日のプログラム

函館RC創立80周年記念式典報告

2014~2015 <第2449回例会>

第15号 10月22日の記録



10月22日 卓話
北海道新聞社 函館支社
記者 本庄 彩芳氏

- ◎司 会 石橋 輝夫 会長
- ◎斉 唱 手に手つないで、四つのテスト
- ◎ゲ ス ト 北海道新聞社函館支社 本庄 彩芳氏

- ◎会長報告 石橋 輝夫 会長
- 10月19日(日)少年野球の決勝戦に参加してきました。11月8日(土)湯の浜ホテルにて少年団の父兄の方との懇親会のご案内をいただきました。会長、幹事で出席してきます。

- ◎委員会報告
 - 深瀬 晃一 会員 (職業奉仕委員会)
 - ・インフルエンザ予防接種のご案内です。会員、ご家族、社員の方に1,000円でご提供します。医院での接種となります。北RCの関係者として申してください。10月20日から受付ます。また、肺炎球菌は函館市では65歳以上、5歳きざみで補助が受けられ、6,000円のところ4,000円です。肺炎による死亡は高齢者で一番多い死因で、8割予防できます。5年間有効です。インフルエンザと同時接種も可能です。

- ◎幹事報告 斎藤 秀司 幹事
 - 10月25日(土)函館RC創立80周年記念式典が午後4時より五島軒本店で開催されます。出席は会長、幹事、増田会員、深瀬会員です。

- ◎親睦活動委員会 斎藤 秀司 委員長
 - ニコニコBOX投入報告
 - 石橋会長……少年野球表彰式に出席して来ました。
 - 森会員……紅葉が日増しにきれいになって来ました。
 - 成田会員・小笠原会員……ニコニコボックスに協力。
 - 齊藤(紀)会員……おひさしぶりです。
 - 弗田会員……本庄さんを歓迎して。
 - 増田会員……結婚記念のお花ありがとうございました。

- ◎卓話「新聞記者の仕事」
 - 北海道新聞社 函館支社 報道部
記者 本庄 彩芳氏
 - 2007年に入社し、初任地は札幌で次が中標津町、そして2年前の2012年7月に希望がかない父の出身地である函館に来ました。新聞記者として8年目です。
 - 文章を書くことが好きで記者を希望しましたが、実際は文章力よりもコミュニケーション力や体力、精神力がいる仕事だと感じています。冬にスキーウェアを着て一日中外にいたこともあり、ハードな仕事です。原稿を書いては上司に赤ペンで直されますが、表現の

仕方や論理構成などを指摘されることもあり、日々勉強しています。

私が配属されている函館支社報道部は記者15人、20代から40代でそれぞれ市内5つのグループに分かれていて、私は渡島振興局の記者クラブです。これは支庁クラブといわれています。他には中央署の警察クラブ、市役所の市政クラブ、商工会議所にある記者クラブ、五稜郭の支社です。原稿をチェックするデスクが5人いて日々交代で我々の原稿をチェックしています。

函館支社着任後は中央署の記者クラブで事件事故を担当していました。遺族の方に話を聞く機会もあり、新聞に写真が掲載される際にはご遺族の方からご提供いただいたものです。函館では3回御遺族に写真提供をしていただきましたが、そういった場合は命日にお宅へおじゃまして手を合わせるなどしています。

タイヤ盗難や灯油泥棒に気をつけましょうといった記事も書いたり、また、函館は昨年振込詐欺の被害額が1億円を超えるなど、道内で最も被害が大きい地域だったので、何度も啓発記事を書きました。

今年7月から渡島総合振興局の記者クラブにいます。北斗市や七飯町など道南地方の農業について取材をしています。以前は昼夜問わずの仕事でしたが、7月以降は少し眠れるようになりました。

日々の取材では記者の7つ道具といって、1. ノートとペン、2. カメラ、3. パソコン、4. 腕章、5. ICレコーダー、6. 名刺、7. メジャーを持っています。取材現場では、腕章を付けて身分を明かして取材しています。メジャーは事件事故の場合、飛ばされた距離を測ったり、野菜の取材ではトマトの大きさを測ったりと重宝します。パソコンと携帯を接続し、外から記事を送信しています。現場に応じてカイロや首からぶら下げるLEDライトです。先日新幹線の陸揚げの取材では夜中に函館の港を出発し、2時に七飯町の車両基地に着きました。車両基地は真っ暗で午前2時にそこで待機していましたが、この時役に立ちました。

一日の生活リズムは、7時に起床し、朝9時頃までに五稜郭の支社へ行き、各新聞をチェックします。この時間が苦手で、「他紙に七飯町のこういう事業が載っているが、知っていたか」などと言われ、上司からしかられたり、またいつか記事にしようとしているうちに他紙に先に書かれる時もあります。

道新には早番と遅番の2種類の誌面があります。早番は工場から遠い地方への新聞で、夕刊では午前11時半締切です。函館市街地などの遅番地域は午後1時半ころです。裁判所で大きな判決があり、午後1時に判決申渡しがあった場合、ものすごい勢いでメモを取り、ギリギリ1時半の締切に間に合わせ、夕方の紙面となるなど締切と格闘しています。朝刊では早番は夜11時15分頃、遅番は1時15分頃が最終締切です。冬場はトラックの運送体制により、締切は早くなります。午後の締切の1時30分ころまで、気を張っていてお昼もゆっくり食べられません。夕方に食べたり、昼夜一緒に食べることもあります。夕方6時過ぎから7時ころも執筆時間で、締切に追われる時間です。夜は人脈づくりや情報収集に努めていますが、実際に事件があった場合は帰ることができません。6月22日木古内駅でJR貨物の脱線事故があった時は事件事故担当の記者でした。発生が午前4時すぎでJRから報道に連絡が入ったのが午前6時過ぎでした。すぐ家まで木古内へ向かい、運輸安全委員会の事故調査官などに取材を続けて、家に帰ったのは午前2時ころでした。新幹線陸揚げ取材の際はお昼1時ころ出社し、1両目午前2時の車両基地への搬入を見て、さらに2両目が2時半ころでそれを見届け、それから会社へ帰り原稿を書いて帰宅したのは朝の5時ころでした。歴史的な場面に立ち会うことができ、やりがいのある仕事です。

函館では、記事を書いていて読者の方との距離の近さを感じます。あの記事つまらなかったとか、よかったよなどと声を掛けていただくことが多く、遣り甲斐を感じています。

(会報担当者：増山 正 委員)

やさしい気持ちは森から育ちます。

子供たちの未来のために森を守りましょう



函館北ロータリークラブ



環境保全と土に生きる会



森 秀樹

(広告掲載：森 秀樹 会員)

◎10月8日出席報告 (小河 博保 委員長)

会員	21名	出席率対象会員	21名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	17名	当日欠席	4名
他クラブ出席	3名	出席合計	20名
出席率		95.24%	

次回のプログラム

平成26年11月12日(水)

卓 話

日本銀行函館支店 支店長 沼本 奈美氏

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番